

# 令和3年度「しまねっ子！元気アップ・カーニバル」 開催校の紹介

「しまねっ子！元気アップ・カーニバル」は、「しまねっ子！元気アップソング&ダンス」や、柔軟運動、また短縄、長縄やボール等を使った「しまねっ子！元気アップ・プログラム」の15種目の中から好きな数種目を選択して異学年・同学年の友だちと一緒に仲良く楽しんで運動する集会活動です。15種類の運動種目には、島根県の地名にちなんだ名前が付けられています。

以下はこの集会活動を開催した学校の紹介です。友だちと声をかけ合い、助け合いながら記録の向上を目指し、運動することに夢中になって楽しんでいる子どもたちの姿が見られます。

（コロナ禍の影響で、開催ができなかった学校については、各校で行った「しまねっ子！元気アップ・プログラム」の取組を「取組紹介」として掲載しております。）

なお、カーニバル開催校及び取組を紹介していただいた学校には株式会社ローソンの協力により運動用具等が贈られました。

## ◆取組紹介◆ 雲南市立三刀屋小学校 全校 252名 取組の期間：3月1日（火）～3月11日（金）

全校でのカーニバルは中止となりましたが、体育委員会を中心に2学期から、準備運動のダンスやポスターづくりなど、会を盛り上げるための準備を頑張りました。

個人の短縄跳び、学年ごとに長縄8の字跳びに取り組みました。会を延期したことで取組期間が伸びたことや、学年ごとの集会が終わっても縄跳びブームが続いていることによって、技術面でも体力面でも成長が見られました。

6年生児童にとっては、この取組によって、卒業前に一段と気持ちを一つにすることができたようです。



## ◆取組紹介◆ 松江市立竹矢小学校 全校 317名 開催日：2月15日（火）～ 分散開催

カーニバルに向けて色別4チームに分かれて練習を重ねてきた「奥いずもおろちみんなでジャンプ」を、学年ごとに計測した記録を色別で合計して競う形に変更しました。

また、6年生はカーニバルでの披露に向けて練習したダブルダッチや短縄の二重跳びなどの技を、6年生を送る会での出し物として披露することができました。

練習の成果を披露できる場を設定することにより、子どもたちの意欲を持続させることができ、取組が終わった後にも技の練習に取り組む子どもたちの様子が見られました。



◆取組紹介◆ 吉賀町立柿木小学校 全校 51 名  
取組期間：2月7日（月）～11日（金）、3月3日（木）

元気アップ・カーニバルに向けて、柔軟運動と縄跳びを使った運動に全校で取り組みました。個々に目標をもたせることで、自己の体力や技術の向上に対する意識の高まりが見られ、意欲的に練習に取り組むことができました。

長縄跳びは、児童数が少ない本校にとって学年を超えた交流につながる貴重な経験の場となっています。

児童の感想には、チームや個人で諦めずに練習してできるようになった喜びや、うまくいかない悔しさが次への目標につながるといった前向きな思いが表れていました。



◆取組紹介◆ 出雲市立朝陽小学校 全校 212 名  
開催日：2月16日（水） 分散開催

学級対抗で長縄8の字跳びに挑戦しました。分散での開催とはなりましたが、校内掲示板を活用して各学年の目標や達成状況を共有したり、併せて短縄跳びにも取り組めるように練習時間の確保や環境整備を行ったりしたことで、個々の児童や各学年の意欲の持続・向上につながりました。

取組後の児童の感想には、記録を更新したり、新しい技を習得したりしたことへの喜びが多く見られました。

この取組をきっかけに、日常的に運動に親しもうとする態度が一層育まれていくことを期待しています。



◆取組紹介◆ 出雲市立長浜小学校 全校 344 名  
開催日：2月4日（金）

スポーツ委員会の計画により、各学年の実態に合わせた内容でなわとび集会を行いました。

集会では、全員参加の短縄持久跳びや学級対抗の長縄8の字跳び、代表者による色別対抗二重跳びリレーと、様々な形態の種目に取り組みました。その中で、精一杯取り組む仲間の姿に感動したり、代表選手への憧れの気持ちが自己の目標に変わったり、みんなで力を合わせる喜びを感じたりと、数値では表れない部分でも運動の楽しさを味わい、意欲を高めることができました。



◆取組紹介◆ 出雲市立多伎小学校 全校 143名

取組期間：6月1日（火）～2月4日（金）

1学期には「江の川マラソン」、2～3学期には「松江城！忍者8の字跳び」や「出雲ドームブリッジ」、「ドジョウすくい3種目柔軟運動」に取り組みました。

1月の全校なわとび集会は中止となりましたが、全校で取り組んできたことは、体力向上だけでなく、学年を越えた交流にもつながりました。「6年生に優しく教えてもらった。」「8の字跳びに連続で入れるようになった。」といった経験をきっかけに、休み時間のなわとび遊びにも活動が広がっており、体力向上に向けた好循環が生まれています。



◆第18回◆ 大田市立久屋小学校 全校 51名

開催日：2月22日（火）

この日のカーニバルに向けて、体育の授業や業間運動などの時間を使い、個人練習はもちろん、学年や学級ごとに目標を定めて練習に励んできました。

当日は、持久跳びに始まり、「松江城！忍者8の字跳び」や、「鯉から竜に変身 蟠竜湖連続2重跳び」に熱心に取り組みました。特に、長縄を使った運動では、上学年が上手に年下の児童をサポートしたり励ましたりする姿が見られ、跳んだ回数にかかわらず、どの子も笑顔で運動を楽しんでいる姿がとても印象的でした。



◆第17回◆ 雲南市立海潮小学校 全校 59名

開催日：2月1日（火）

なわとび集会を、赤組と青組のチーム対抗戦で行い、これまでの練習の成果を披露する場となりました。

準備運動の「しっぽとり」に始まり、個人種目（短縄）、団体種目（1～3年、4～6年で長縄8の字跳び）を行いました。短縄では、一人一人の姿がよく見えるように隊形が工夫されており、成功や失敗に関わらず全員に温かい拍手が贈られていました。8の字跳びでも、チームごとに励ましの声を掛け合う姿や上学年が動きのサポートをする姿などが見られ、全校で運動を楽しむことができました。



◆第16回◆ 飯南町立頓原小学校 全校61名

開催日：12月10日（金）

今回のカーニバルは、全校で取り組む「冬のなわとび運動」のスタートの会として行われました。

頓原小独自の「E×ダンス」と、「ドジョウすくい3種目柔軟運動」でしっかりと体をほぐしてから、メインのなわとび運動を行いました。

短縄では時間跳びと種目跳びに、長縄では8の字跳びに挑戦し、時間いっぱい諦めずに跳ぶことで、今の自分たちの力を知ることができました。3学期のなわとび集会で成長を実感できるよう、練習に励んでほしいと思います。



◆第15回◆ 出雲市立須佐小学校 全校83名

開催日：12月6日（月）

この日は、「しまねっ子！元気アップ・プログラム」の中から、各学年が選び、カーニバルを目標に練習に取り組んできた種目の最終記録会を行いました。

この日までに4度の記録会を経験する中でチームワークが磨かれてきました。本番では、元気よく数を数えたり、励まし合ったりして、8の字跳びや壁付きパス、長縄ジャンプに楽しみながら取り組むことができました。

取組を通して気付いた「仲間と協力する大切さ」を忘れず、これからの体力向上にも生かしてほしいと思います。



◆第14回◆ 安来市立赤屋小学校 全校21名

開催日：12月2日（木）

赤屋小オリジナルの準備運動「赤屋サーキット」から、カーニバルが始まりました。他学年の友達と関わり合いながら種目に挑戦する中で、互いに協力したり声をかけ合ったりして楽しく運動をすることができました。

最後に行った「高津川清流長縄ジャンプ」では、新記録が出ると、一斉に「やったぁ。」と声を上げて仲間と喜びを分かち合う姿がありました。

今後もみんなで運動する機会を通して、よい刺激を与え合い、運動好きの児童を増やして行ってほしいと思います。



◆第13回◆ 大田市立大田小学校 4年生64名

開催日：12月1日（水）

校長先生と一緒に元気よく「じょうぶな根っこ しまねっ子」ダンスを踊ってカーニバルがスタートしました。

3グループに分かれて、登り棒、柔軟運動、8の字とびにローテーションで取り組んだ後、最後に全員チャレンジの江の川マラソンを行いました。

仲間とともに笑顔で運動に取り組む姿や、自分やグループの記録を少しでも伸ばそうと、時間いっぱい挑戦し続ける姿が印象的でした。今後も楽しみながら体を動かす機会を通して、体力アップに励んでほしいと思います。



◆第12回◆ 出雲市立神西小学校 2年生30名

開催日：11月16日（火）

2年生の子どもたちが、笑顔で元気いっぱい初めてのカーニバルに取り組みました。

「30人で142km走ろう」の目標を立てて継続的に取り組んできた江の川マラソンでは、この日見事に合計142kmを走破することができ、みんなで喜びを分かち合いました。

その後の柔軟運動や8の字とびでも、全員が輪になってブリッジを披露するなど、普段の体育で行ってきた成果が見られました。改めて、日々の積み重ねの大切さを感じることができました。



◆第11回◆ 雲南市立鍋山小学校 全校49名

開催日：11月10日（水）

当日は天候不良のため、体育館で「神在月！神様大忙しシャトルラン」を行いました。この日予定されていたロードレース大会に向けて、10月から取り組んできた業間マラソンの成果が現れ、およそ半数の子どもたちが自己記録を更新することができました。走っている友達への温かい拍手や応援も大きな力となっていたように感じました。

このよい雰囲気継続させ、子どもたちが意欲的に運動に取り組んでいけるよう、運動環境を整えることで、体カアップにつなげていってほしいと思います。



◆第10回◆ 吉賀町立六日市小学校 全校73名

開催日：11月1日（月）

昨年度と同様に、朝活動で継続的に元気アップ・プログラムを参考にした取組（投運動、登り棒、ブリッジなど）を行っており、1学期はマラソンにも毎週取り組みました。

今回のみろくマラソンでは、本番に向けて体育の時間だけでなく、休み時間にも希望者を募って体カ作りを行いました。当日は晴天の下、校外のコースを使って開催し、一人一人がゴールを目指して粘り強く走ることができました。今後も取組を継続し、コロナの影響で低下気味の体カを取り戻していってほしいと思います。



◆第9回◆ 大田市立朝波小学校 全校79名

開催日：10月21日（木）

昨年度に続き、縦割り班で元気アップ・プログラムにチャレンジしました。各種目のポイントを合計した得点で競い合うことで、子どもたちの意欲向上につながりました。また、様々な運動に取り組む中で、仲間を思いやったり、自分の頑張りに気付いたりする子が多くいたようです。

柔軟運動や対面パス、8の字跳びのそれぞれで記録を更新した子どもたちの感想には、「カーニバルは役に立つ」や「柔らかさを維持したい」といったものがあり、今後のさらなる体カ向上に向けて期待が膨らみました。



◆第8回◆ 奥出雲町立八川小学校 全校 59名

開催日：10月20日（水）

委員会の子どもたちの司会進行により、カーニバルが盛大に行われました。

最初に行った柔軟運動では、先生から記録が伸びるコツを教わった子どもがそれを試し、実際に記録更新すると、縦割り班のみんなで歓喜の声を上げ、喜びを共有していました。短縄跳びでは、二重跳びや10秒間前跳びなどに目標回数を決めて挑戦し、練習の成果を発揮していました。

このカーニバルで知った動きのポイントやコツなどを、普段の生活や体育の授業でも生かしてほしいと思います。



◆第7回◆ 奥出雲町立馬木小学校 全校 44名

開催日：10月20日（水）

朝の体幹強化やストレッチ、体育の授業などでの体力向上に向けた取組を各学級で継続的に行っています。

この日は、全校での活動ということもあり、誰もが無理なくできる運動を取り入れ、みんなで楽しむことができました。ペアで仲良く柔軟運動に取り組む姿や、対面パスでお互いを思いやりながら丁寧にボールを投げる姿、みんなで声をかけ合って長縄とびに取り組む姿など、縦割り班ごとに上の学年の子が下の学年の子を励ましたり、上手にリードしたりする様子がたくさん見られました。



◆第6回◆ 大田市立北三瓶小学校 全校 12名

開催日：10月8日（金）

カーニバル最初の種目「松江城！忍者8の字とび」では、みんなで元気よく数を数えたり、「がんばれ！」「いける！」などの応援をしたりすることによって、気持ちを高め、これまでの記録を更新することができました。

このよい流れのまま、その後の柔軟運動やブリッジ、シャトルランといった種目にも楽しみながらよい雰囲気の中で取り組むことができました。元気アップ・カーニバルを何度も経験している子もおり、自分の体力の向上や課題を実感しながら取り組むことができていました。



◆第5回◆ 大田市立高山小学校 全校 33名

開催日：9月10日（金）

カーニバルを通して、子どもたちが、仲間と仲良く運動したり、チャレンジすることの楽しさを味わったりすることができました。「班のみんなで練習したらどんどん上手になってうれしかった。」という感想からも、まとまった人数で取り組むよさに気付いたことが伝わってきました。

江の川マラソンでは、5月から始めた高山小独自の運動「やる気まんまんタイム（業間マラソン）」の成果が見られました。カーニバルで高まった意欲を、今後のさらなる体力向上につなげてほしいと思います。



◆第4回◆ 安来市立南小学校 全校 67名

開催日：9月7日（火）

1学期から、屋内体育の時間に柔軟運動に継続的に取り組んだり、縦割り班で8の字跳びの練習を行ったりしてきました。

カーニバル当日は、なわとび集会と結びつけて、これまでの活動の成果を披露し合う時間となりました。柔軟運動、個人種目（短縄）、縦割り班種目（長縄8の字とび）のそれぞれで成長の姿が見られ、温かい拍手が贈られました。また、なわとび名人紹介や高学年による技の紹介など、児童の意欲向上を促す工夫もあり、充実した時間になりました。



◆第3回◆ 雲南市立阿用小学校 全校 51名

開催日：9月2日（木）

しまねっ子！元気アップ・プログラムをもとに阿用小バージョンを作成し、業間休み等の時間を使い、全校で継続的に取り組んでいます。

当日はあいにくの雨でしたが、体育館に向かう児童の笑顔や元気な挨拶の声からは、運動を楽しみにしている様子が伝わってきました。また、教員が一緒になって活動をする 것도児童の意欲向上につながっているように感じました。これからも運動への取り組みせ方を工夫し、楽しみながら体づくりを進めてほしいと思います。



◆第2回◆ 安来市立母里小学校 3, 4年生 25名

開催日：7月16日（金）

今年度から元気アップ・カーニバルに参加しました。この運動を始めてまだ2時間目ですが、1時間目と比較してどの種目も記録が大幅に伸びました。連続して続くように意識して取り組む児童が多くなりました。また、失敗してもお互いに励まし合う姿が見られました。

目標に向かって行うことで、達成感を味わったり、「もっとやりたい」と意欲をさらに高めたりすることにつながりました。今後も体づくりの面から、継続して取り組んでいきたいと思っています。



◆第1回◆ 出雲市立国富小学校 4年生 29名

開催日：7月15日（木）

元気いっぱいの4年生児童が初めて「出雲ドームブリッジ」や「ドジョウすくい3種目柔軟運動」に挑戦しました。これまでは、ブリッジができる、できないだけで考えていた児童達に、「手と足を近づける」という新しい意識が芽生え、「なかなか記録が縮まらず難しかったけど、楽しかった。」という感想が多くありました。今回の取組をきっかけに、児童に柔軟性をさらに高めようという意識をもたせることができたので、定期的に体育の時間においてブリッジや柔軟運動を取り入れていきたいと思っています。



